

# 子どもの生活考グループ研究会

グループ員：合田 新治（天神川幼稚園） 山川 陽子（すずはら幼稚園）  
辻口 浩子（桜台幼稚園） 前中 穂乃花（おぎの幼稚園）  
吉岡 由香子（桜台幼稚園） 倉田 裕子（こうのいけ幼稚園）  
東岡 友紀（桜台幼稚園）

担当指導主事：宮崎 大樹

キーワード： 幼児 幼児理解 幼児教育

## 1 研究テーマ 「子どもの生活を通しての学びを考える」

## 2 研究内容

「子どもの生活を考える」という研究テーマに基づいて研修を行った。より具体的な話し合いをし、今後の保育に活かしていくことができるように、「子どもの主体性」という視点を基に、保育実践や保育の中での悩みを出し合ったり、教員の援助や子どもの学びの読み取りについて考えたりして研修を深めた。また、日々の保育や行事(作品展や劇遊び)の取り組みや持ち方、今年度市内指定の研究会を終えた教員の学びについて情報交換し合い、子どもの生活の中で大切にしていきたい視点を学び合った。

### (1) 事例研究

- ① 個別の支援について
- ② 好きな遊びでの遊びの展開の仕方について

### (2) 保育について

- ① 子どもの姿から各学期の保育環境の振り返り
- ② 子どもが主体的に遊ぶための保育室の環境について

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ① 研修会場を園に設定し、実際に保育室の環境を見せていただき、今悩んでいる事や教師が意図していることを教えていただいた後、質問し合ったりと尋ねたりと、学び合うことができた。
- ② その時期ならではの素材、環境など詳しく聞くことができ、保育に活かすことができた。
- ③ 事例研修では、教師が今悩んでいることを出し、幼稚園生活の中で一人一人の学びや育ちが保障されるよう、援助や環境構成について話し合うことで、「子どもが何を思っているのか、どんなことを楽しいと感じているのかといった子どもの姿を、教師が丁寧に見取ることの重要性」「教員自身が感性を磨いていくことが大切である」と改めて確認することができた。また、教員の考え方や保育に子どもをはめ込もうとするのではなく、子どもの「今」の姿をしっかりと理解しようとする姿勢をもつことの大切さを共通理解することができた。
- ④ 日々の保育での悩みや行事（劇遊び）についてなどの情報交換を行い、即実践につながる学びとなった。
- ⑤ 子どもが主体的に活動するための、保育展開、支援のあり方、環境構成の工夫を学ぶ事ができた。

### (2) 課題

- ① 新しくなる教育要領改訂にともない、子どもの生活を大切にする保育を明確にし、実践を深める必要がある。
- ② その時期ならではの保育教材の情報交換等を行い、教員の資質向上につなげる必要がある。